

▶ 埼玉県深谷市

## 周辺施設をつなぎ、 来場者を癒やす「テラス」



地域に寄り添い、街をともに考える、  
コミュニケーション誌

### INDEX

- 01 融資がつむぐまちづくり
- 05 地域のために がんばる公営競技
- 07 JFM TOPICS
- 11 利用してみよう! 地方支援業務
- 15 みんな気になる、お金のこと
- 17 わたしのシゴト わたしのジモト
- 18 機構からのお知らせ
- 19 私たちもJFM債買っています!!
- 19 編集後記



JFMの貸付事業 | JFMでは、長期かつ低利な資金を地方公共団体に融資することで、地方公共団体の財政の健全な運営及び住民福祉の増進に貢献しています。

詳細はp.03



- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

深谷テラスパーク 概要 所在地:埼玉県深谷市黒田41 / 竣工:令和4年5月 / 敷地面積:約38,300㎡

## FUKAYA TERRACE PARK

# 深谷テラスパーク

埼玉県北部に位置し、都心へのアクセスの良さと豊かな自然や歴史遺産を兼ね備えた埼玉県深谷市。深谷ねぎが全国的に有名ですが、実は1年間を通じてさまざまな旬の農産物を楽しめる「野菜のまち」なのです。そんな深谷の魅力を余すことなく詰め込んだ深谷テラスパーク。幅広い層が楽しめる深谷の新名所をご紹介します。





**1 管理棟** \* 周辺地域の観光パンフレットや、深谷市をVRで巡ることができるモニターなどが設置されています。



**2 円形広場** \* 休日には、マルシェやキッチンカーでの出店が行われるなど、ほぼ毎週イベントが開催されています。



**3 デジタルサイネージ** \* 深谷市の名所や特産品について学べる映像を放映しています。



**4 調整池広場** \* 雨水を貯留するためのスペースですが、イベント会場などにも利用しています。



**5 ジャブジャブ池** \* 滝が流れる仕掛けや、プチ噴水がある池。小さなお子様でも安心して水遊びが楽しめます。



**6 ベジタブルマーケットランド** \* 野菜やユリ、チューリップを形どった大型遊具です。すべり台は、特産品の深谷ねぎをモチーフとしています。



**7 深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム** \* キューピー株式会社の手掛けた、収穫体験のできる農園やレストランなどからなる野菜の複合施設です。



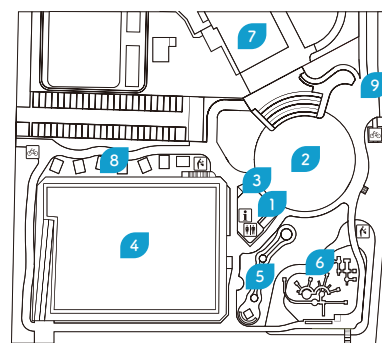
**8 デッキ広場(バーベキュー場)**



**9 メインエントランス**

## FLOOR GUIDE

広大な敷地には、子どもが遊べる遊具や水遊び場、さまざまなイベントが開催される広場など、深谷の自然を楽しみながらくつろげるスポットが詰まっています。小さなお子様連れのご家族や、アウトレットなどの周辺施設に訪れた買い物客など、さまざまな方が楽しめる新名所です。



## 地域の魅力を発信する総合施設

秩父の美しい山並みと、洗練された民間施設を調和させる総合施設、深谷テラスパーク。「緑あふれる瀟洒な空間」をコンセプトに設計されました。隣接する2つの施設、アウトレットモールと、野菜の魅力を伝える「深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム」をひとつなぎにするテラスのような施設という意味を込めて、「深谷テラスパーク」という名前がつけられています。

深谷テラスパークには、ゆったりとくつろぎながら、深谷の魅力に触れることができる施設が揃っています。新鮮な農産物などが並ぶマルシェなどさまざまなイベントが開催できる「円形広場」、深谷市の特産品・野菜やユリ、チューリップをモチーフにした大型遊具がある「ベジタブルマーケットランド」、子どもたちが水遊びを楽しめる「ジャブジャブ池」、大型デジタルサイネージなどで市の情報を発信する管理棟などを有し、世代を問わず楽しめるスポットとなっています。

関越自動車道 花園ICや秩父鉄道のふかや花園駅からほど近く、アクセス良好。オープン以来数々のイベントが開催され、市内外から多くの人が訪れています。

### オープニングイベント



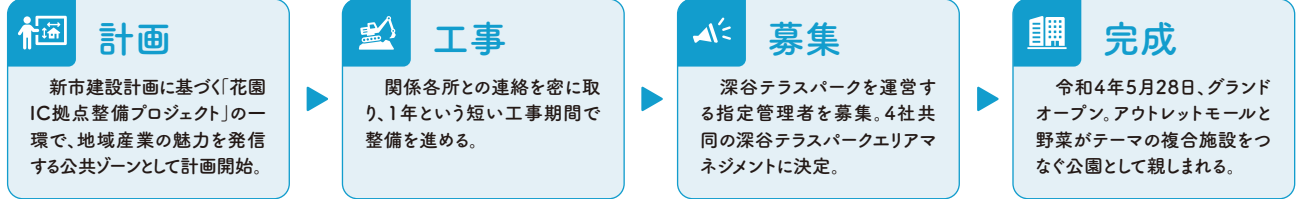
2日間にわたって開催され、約7,900人にお越しいただいたオープニングイベント。深谷の野菜を楽しめるマルシェ、秩父地域など観光連携市町村のPRイベントなどが行われました。

# 周辺施設をつなぎ、来場者を癒やす「テラス」

令和4年5月にオープンした深谷テラスパーク。施設を所管する深谷市産業振興部産業ブランド推進室の茂呂佑典さんに施設のコンセプトや今後の展望などを伺いました。



## ▶ 深谷テラスパークができるまで



深谷市 産業振興部 産業ブランド推進室  
茂呂 佑典 主査

## ≡ 民間事業者との連携で、多彩なイベントを開催

深谷テラスパークは、関越自動車道 花園IC周辺に観光拠点を整備するプロジェクトにより、地域産業の魅力を広く発信することを目的として設置されました。施設の管理・運営には指定管理者制度を導入。民間事業者ならではのネットワークを活かしたイベントや広報活動を行っています。昨年度は、周辺の飲食店や音楽・映画・キャンプ関係者などと連携し、「深谷モーニングカーニバル」というイベントを行いました。前日夜には前夜祭として、音楽の演奏や、デジタルサイネージでの映画上映、キャンプ体験を行い、当日朝には深谷の採れたて野菜などを楽しめる朝ごはんを用意。さまざまな趣味を持った方に市内外から足を運んでいただきました。今年度も、指定管理者の主導により、さらに幅広い層に深谷テラスパークの魅力を知っていただくため、魅力的なイベントを企画しています。

## ≡ 県北・秩父地域との観光連携を推進

近年、深谷市では公共施設の更新時期が重なっており、令和2年に供用開始した市役所本庁舎など、多くの施設でJFMの融資を活用しています。民間資金での調達難しい長期の借入にも活用できることが理由です。深谷テラスパーク建設では、施設の基礎整備や周辺環境の整備に活用させていただきました。深谷市では、埼玉県北や秩父地域との観光連携を深めています。深谷テラスパークは、深谷市及び周辺地域の観光パンフレットを設置するなど、観光案内所のような役割も果たしています。今後も深谷市を拠点に地域を回遊していただく取組を行っています。

## STAFF VOICE



深谷テラスパーク エリアプロデューサー  
長江 剛 所長(左) 鈴木 耕太郎 さん(右)

4社からなる深谷テラスパークの指定管理者として、運営・管理を担っています。来場者の方からは、「子どもを安心して遊ばせられる施設ができてうれしい」と、直接うれしいお声をいただくことも。これからは、深谷市だけでなく、県北・秩父地域一帯を盛り上げられるようなイベントを、地域の皆様と一緒に作り上げていきます。

### 本件で活用いただいた制度

#### 合併特例事業

合併した市町村が行う市町村建設計画に基づく事業や、都道府県の構想に位置づけられた市町村の合併に伴い必要となる事業です。上水道、下水道及び病院事業について、合併に伴う増嵩経費に対する一般会計からの出資や市町村振興のための基金造成等も対象となっています。

融資活用事例一覧はこちら



#### JFMスタッフMessage

深谷テラスパーク整備にあたり、ご活用いただいた合併特例事業につきましては、令和4年度は、JFMから全国の地方公共団体に対し、総額792億円の貸付けを行いました。JFMでは、電子申請・通知システムによる借入申込事務のオンライン化により、効率化に取り組んでいます。借入事務にあたり、ご不明な点などありましたら、お気軽に融資部各都道府県担当までご相談ください。よろしくお願いいたします。



融資部融資課 埼玉県担当  
村林 賢弥

# 埼玉県深谷市の まちづくり



[人口]

141,343人



[世帯数]

62,347世帯



[面積]

138.37 km<sup>2</sup>



深谷市ホームページ



深谷市イメージキャラクター  
ふっかちゃん  
郷土の偉人  
渋沢栄一

## 渋沢栄一、SDGsの理念を取り入れた まちづくりを行っています。

深谷市では、「誰一人取り残さない みんながうれしい ふかや」を基本方針としたまちづくりを行っています。深谷市出身の実業家、渋沢栄一の理念やSDGsの考え方を取り入れ、

- ① 渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト
- ② 農業の強みを生かした産業振興プロジェクト
- ③ 「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進プロジェクト
- ④ 行政デジタル化推進プロジェクト
- ⑤ ゼロカーボンシティ推進プロジェクト

の5つを先導的かつ重点的な取組として、持続可能な社会の実現を目指しています。

深谷市は、国から「SDGs未来都市」に選定されています。

## ▶ 行政 Pick Up! 注目の行政事業を紹介します。

### ◎子育て支援の取組

深谷市では、子育てのしやすいまちづくりを目的に、さまざまな取組を行っています。負担軽減になると喜びの声をいただいているのが、0～2歳の子どもを対象とした保育料の完全無償化。所得制限なしの無償化は埼玉県内初の取組です。さらに、子どもたちが安心して遊べる場所を提供するため、令和8年度には幼稚園とこども館の機能を併せ持つ複合施設もオープン予定となっています。



深谷市内の保育園

### ◎アグリテック交流拠点の運営

深谷市の強みである農業を次世代に引き継ぐため、ICTなどを活用した農業課題解決技術(アグリテック)の集積を推進しています。令和5年度は、アグリテックに関わる企業や農業生産者が集まり交流できる場として「アグリテック交流拠点」を設置し、企業マッチングや交流会を実施する予定です。これにより、農業とテクノロジーの融合を促進し、より効率的で持続可能な農業の発展を目指しています。

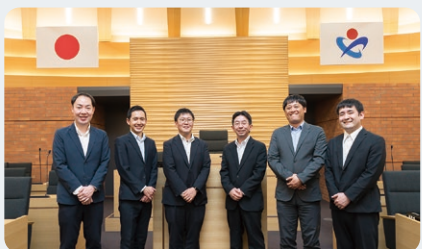


機械を使用して農業を散布の様子

## ▶ 進めています! 業務効率化

**書かない窓口の導入** 令和2年の新庁舎供用開始時から、「書かない窓口」を導入しました。来庁者の個人情報は身分証などで確認し、住民票など証明書発行時の申請書記入を省略。来庁者、職員ともに負担軽減につながっています。また、令和5年度には公式LINEを開始する予定です。市民に対してプッシュ型の情報提供を行いながら、将来的にはLINE上で行政手続きができることを目指して、行政のオンライン化を推進しています。

**ICTによる業務効率化** PC上で行う事務作業を自動化、効率化するシステム、RPAとAI-OCRを導入しています。これにより行政事務の大量かつ定型的な業務の迅速な処理、さらに経費削減と職員の負担軽減を実現しています。また、職員間のコミュニケーションには、地方公共団体向けのビジネスチャット「LoGoチャット」を全職員が利用し、災害時や通常業務における迅速な連絡体制を確保しています。



深谷市 財政課・産業ブランド推進室の皆さん



令和2年に供用開始した新庁舎には、深谷に馴染みの深いレンガが使用されています。

